

那 須 南 病 院 看 護 部

看護部紹介 看護部長からのメッセージ 看護部の体制 部署紹介 キラキラ看護師	教育について 教育体制 看護助手研修 e-ラーニング研修 認定、特定行為看護師	頑張っていること ディケア活動 救急WG活動 内視鏡技師増員	その他 奨学金制度
---	--	--	---------------------

地域の中で、患者さんに寄り添い笑顔の看護



地域医療、多職種連携の中心的役割を果たし、

垣根を超えた、協力し合える病院を目指します。

看護部長からのメッセージ

南那須地区広域事務組合立那須南病院は、栃木県北東部の那須烏山市に位置し、近くを清流那珂川が流れる自然豊かな環境の中にあります。2017年、ユネスコ無形文化遺産に登録された「山あげ祭り」は、450年以上の伝統を誇る絢爛豪華な野外歌舞伎を繰り広げ、夏に開催されます。

当院看護部は地域に根付いた看護を目指し、患者さんに寄り添い、きめ細やかな支援ができるよう心掛けています。地域の皆様から「那須南病院があって良かった。那須南病院の看護師に出会えて良かった。」と言っていただけるよう、スタッフ一同、力を合わせて取り組んでいます。また、「お互い様」を合言葉に、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、働きやすい職場づくりを目指し、人材を貴重な財産として、スタッフがやりがいを感じながらいきいきと働けるように、職場環境の改善にも努めています。



看護部長 鈴木敦子

看護部の体制

◎看護部理念

私たちは、患者の皆様に寄り添い、思いやりのある看護を提供します。患者・ご家族が、安心して過ごせるようにサポートします。

◎看護部方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、まごころと優しさのある看護をします。
2. 地域の皆様に親しまれ、信頼される看護をします。
3. 良い看護を提供するために、自己研鑽に努め、責任と誇りを持って看護をします。

◎2019 年度看護部目標

1. 患者さんに寄り添い、信頼される看護を提供する
2. 専門職としてのキャリアアップを図る
3. 退院支援を強化し、地域に貢献する
4. 病院経営に貢献する

◎看護体制

1. 一般急性期病棟 10:1 100 床
2. 療養病棟 20:1 50 床

◎看護提供方式

固定チームナーシング方式+受け持ち制

◎勤務形態

1. 病棟 2 交代制 全病棟 3 人夜勤
2. 外来 日直・当直制

◎看護部委員会活動

1. 教育委員会
2. 基準委員会
3. 記録委員会
4. 業務委員会

◎看護部ワーキング

1. デイケアワーキング



部署紹介

明るく、元気な病棟です！

2階師長 富岡淳子

2階病棟は急性期の治療が終了しリハビリテーションが必要な患者さんや、在宅に戻るため家屋や福祉サービスの準備が必要な患者さんが生活をする療養病棟です。入院中に季節を感じ、楽しく過ごせるためにガラスアートや遊びリテーションなどを行っています。



コミュニケーションを大切にその人らしく

3階師長 檜山律子

内科、眼科、小児科の混合病棟です。急な入院や治療により不安を抱える患者さんに対し、安心して入院生活が送れるよう援助しています。また入院時から退院まで他職種との連携を図り、「その人らしく」を大切にされた退院支援を行っています。



わたしたち、定時で帰ります

4階師長 西宮 英子

外科・整形外科・内科の混合病棟です。様々な疾患や看護を学べる環境が整っており、幅広い知識や技術を身につけることができます。緊急手術など予定外の手術が多い病棟ですが、お互い助け合いながら仕事に励んでいます。笑顔の絶えない職場を目指しています。



手術室の看護で大切にしていること

手術室・中材室師長 竹野井さとみ

手術が円滑に遂行されるよう、専門的知識と技術を習得するよう努めています。また、患者さんの不安や緊張を少しでも和らげるような関わりを大切にしています。特に手術中は意識のない患者さんの代弁者となり、患者さんの立場に立って考える看護の実践に努めています。



患者さんの心と身体に寄り添った透析治療

透析室師長 関本京子

透析室は、看護師4名、臨床工学技士3名の計7名で透析業務を行っています。患者さんが安心して透析治療が受けられるように、患者さんの心と身体に寄り添った看護を心掛けています。知識と技術の向上に努め、安全で質の高い透析医療・看護を目指しています。



チームワークと患者さんの思いに寄り添って

外来師長 高野良子

当院は1市1町からなる2次救急指定病院です。毎日300名近い外来受診者に対応し、救急患者もなるべく断らない精神で行っています。高齢患者が多いなか、患者・家族の思いに寄り添い病棟・外来間で連携を図り患者ニーズに対応しています。



地域で支える体制作り

医療福祉相談・医療連携室室長補佐
副看護部長 岡崎京子

当部署は4名で地域連携や入退院支援を行っています。地域と顔の見える関係作りや在宅患者のバックアップ体制作りの充実を心がけております。入院から退院までの在宅復帰と退院後の在宅生活をみんなで支え合っていける体制作りをめざしていきます。



一人で悩まないで

看護相談室室長看護師長 羽石美智代

看護相談室は、患者・家族、そして病院のスタッフの方が抱えている、さまざまな問題を聴きながら、そこに込められた思いを共に考えていきます。一人で悩まないで！どうぞ、看護相談室の扉をノックしてみてください。



キラキラ看護師紹介

患者さんの個別性に合わせた看護を目指したい

2階病棟看護師 鈴木正美

4月に入職をして病棟は2年ぶりです。日々思い出しながら新たな環境で勤務しています。2階病棟は急性期の治療が終わり、リハビリ、処置、療養が目的の患者さんがいます。退院を目指す患者さんは、地域を含めた多職種連携や個別性看護が重要であると実感しながら勤務させて頂いております。



心のこもった看護を実践

3階病棟看護師 新野伶奈

3階病棟は内科、眼科、小児科病棟です。複数の疾患を持つ患者さんが入院しており、幅広い知識と看護技術が必要です。学ぶことは多いですがやりがいを感じています。先輩看護師は、上手くいかなかった時には、振り返りの場を作って反省を次に活かせるよう指導してくれます。心のこもった看護を意識しながら毎日充実した日々を送っています。



“その人らしさ”を心がけて

4階 認知症看護認定看護師

早稲田祥子

病院スタッフだけではなく、地域とも連携しながら、急性期病棟に入院している認知症を有した患者さんが、穏やかに安心して治療が継続的に受けられるよう支援しています。そして、介護をする家族の不安や負担が少しでも解消されるよう関わっていきたいと思っています。



医師の視点を持った看護の関わり

手術室 特定行為看護師

山寺賢

特定行為は、動脈の採血や、床ずれの除去など、当院では医師が行うべき行為でした。それらを看護師である私が行う事で、医師を待たずに患者さんに迅速に対応できるようになりました。日々、ケア(看護)にキュア(治療)の視点を持ち、統合的な看護目指しています。



地域の方々が笑顔で過ごせる看護を提供していく

外来 慢性呼吸器疾患看護認定看護師・特定行為看護師
小松洋子

外来や地域で関わる患者様が、安心安全に生活できるように声かけをして行けるように心掛けています。患者さんは入院すると不安になることも多いと感じるため、出来るだけ訪室し安心して入院生活が送れるように他のスタッフとの懸橋になれるように日々頑張っています。



教育体制

当院は2019年度4月から日本看護協会（JNA）ラダーを取り入れた教育を行っています。地域の方の暮らしと医療を支えるための切れ目のない看護が必要です。その実現のために基本となる看護実践能力の強化が必要です。看護師は多職種連携の中心的役割を担い、患者さんの個別性を配慮した看護ケアを目指します。

今年度より、日本看護協会のクリニカルラダーを看護実践能力の標準的指標として、当院の理念や目的に応じた組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力を含めたキャリアラダーとして3つの学習を進めていくことになりました。また、インターネットを利用したオンデマンド研修も取り入れ、子育て中の方や育児休暇中の方も、しっかりと受講できます。

◎教育目標

1. 質の高い看護ケアを提供できる看護職の育成
2. 多様化する地域社会ニーズに対応する能力育成

◎那須南病院看護部キャリアラダー

習熟段階	看護実践能力の定義	到達目標
V ラダーⅣを 到達した看 護師	より複雑状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する ・所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる ・看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる ・単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる ・看護単位における教育的役割がとれる
IV ラダーⅢを 到達した看 護師	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する ・職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割を遂行できる ・自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組み、後輩のモデルになる
III ラダーⅡを 到達した看 護師	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの受け手に合う個別性な看護を実践する ・職場での組織的役割が遂行でき、チームリーダーや調整の役割が果たせる ・自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や新採用者に対する指導的な役割を実践することができる
II ラダーⅠ以 外の看護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する ・メンバーシップを高めると共に、チームリーダーの役割がとれる ・自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる
I 新採用の新 人看護師及 び同等の看 護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ・チームメンバーとしての役割が果たせ、良い人間関係を築ける ・自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる

◎新人看護職員研修

キャリアラダーⅠに沿って学習を進めて行くとともに、できるだけ早く職場になじみ、自立した看護実践が行える為の知識・技術を身につけられるよう3ヶ月ごとに目標を決め、定期的に研修を行っています。

- I期目標
- ①休まず出勤できる
 - ②患者、家族、職員へ進んで挨拶ができる
 - ③日勤業務ができる
 - ④指導の基見守られながらケアや処置ができる

- II期目標
- ①メンバーの一員としての役割を認識し業務ができる
 - ②基本的な看護技術が一人で行える

- III期目標
- ①個別性のある看護が展開できる
 - ②不明な点や知識・技術を明らかにして補足と習得ができる
 - ③指導のもと重症患者を看ることが出来る
 - ④指導のもと急変に対応できる

- IV期目標
- ①基本的な看護援助に必要な知識と技術を習得し、安全・安楽に援助できる
 - ②メンバーとして役割が果たせ、良い人間関係を築ける
 - ③自己学習及び自己研鑽の方向性と方法が分かり、実践できる
 - ④現場での看護実践および学習・研修を通して看護観を育てる

病棟では新人看護職員をチーム全体で支援していくチーム支援型教育体制を取り、環境づくりを心がけています。

1. 親しみやすい職場の雰囲気をつくる
2. 困ったときに一緒に考える
3. できたこと、考えたことを認め勇気づける
4. 社会人として、看護師のモデルとなる

◎新人看護職員研修の様子（2019年度）



インシュリン注射について



輸液ポンプの使い方

看護助手研修

主任看護師が中心となり、e-ラーニング研修、実技を中心とした研修を行っています。部署ごとに助手のリーダーを決めて、看護チームの一員として安全に業務が行えることを目標にしています。

e-ラーニング研修

当院はインターネットを活用してオンライン講義「e-ラーニング」を採用しています。教育委員が中心となり、ラダー教育に学研オンデマンドを活用しています。JNAラダー研修は全体用研修に活用しています。時間外研修を減らして、オンデマンドを活用して自分のライフスタイルに応じた自宅学習を推奨しています。看護部職員はいつでもどこでも学ぶことができます。

認定、特定行為看護師

栃木県看護協会や日本看護協会の研修、学会への参加支援のほか、認定看護管理者・認定看護師育成への支援も行っています。現在、3名の認定看護師が組織横断的に活躍しています。また、特定行為看護師が3名おり、医師の診療補助として手順書を下に特定行為として、血ガスの実施や褥瘡のデブリメント、人工呼吸器の設定調整や挿管チューブのまき直し、気切カニューレ交換を中心に行っています。病棟や外来で看護師の指導や相談にのってもらえるなど活躍の場を広げています。認定看護師は研修受講のため特別休暇申請が可能です。

ディケア活動

毎週1回活動を行っています。3階病棟と4階病棟で交互にディケアを開催しています。地域医療を守る会のメンバーの方がボランティアとして参加しています。看護職員とボランティアの方々と協力をして患者さんのQOL向上に努めています。



救急WG活動

医療安全委員会のWGです。今年度は、院内急変に対応できる医療従事者を育てることを目標に活動しています。院内救急対応のトレーニングを、水曜日の夕方行っています。発見から治療までの流れを3段階に分けてトレーニングしています。今年度は看護部から開始して3回ずつクリアをして終了を目指しています。また整形外科医師が講師になり、水曜日の早朝勤務前に救急勉強会を20分間開催しています。自主参加でコーヒーを飲みながらの貴重な自己研鑽の時間です。

内視鏡技師増員

看護職員の内視鏡技師が4名になりました。患者さんは病気に対する不安と、検査の苦痛に対する不安をもちながら内視鏡室に来られます。私たちは患者さんの不安を少しでも少なくして、負担が少なく検査に望めるように対応していきたいと思います。



奨学金制度

あなたの夢と一緒に応援します！

当院は看護師志望の学生を対象に、奨学金制度を設けています。毎月70,000円貸与制度があります。貸与期間の勤務により返済は免除になります。常時受け付けておりますので、ご相談ください。

那須南病院 総務課 0287-84-3911



那須南病院の病院 HP トップページ用の写真としてご検討ください。
当初は看護部用と考えましたが、大変良く撮れており、多職種が入っており、
病院用が良いかと考えました。

<認知症ラウンド時の様子>

